

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表：2021年2月6日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」東田校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7			
	②	職員の配置数は適切であるか	5	2		・言語療育ができる指導員を増やしたい。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	5	2		・パーテーションで児童が落ち着けるようにしている。 ・未就学の児童が洗面所を使用する際は、足台を使用し手洗いや歯磨きがしやすいようにしている。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	5			職員会議で、支援内容について検討する場を設けている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	2		アンケートの結果に基づいて改善策を講じるように努力している。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7			
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			7	現在は、行っていない。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	2		定期的に内部・外部研修へ参加している。 コロナ感染防止のため、Zoom 研修へ参加している。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7			
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	2		
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7			担当を決めて行っているが、職員会議での検討や個々に相談をしてプログラムをたてている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	2		創作活動なども取り入れている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	7			
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	2		個別の活動を毎週土曜日に行っている。

	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	1	2	当日できなかった振り返りは、翌日以降の朝礼や昼礼時などで行っている。
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7			
	⑯ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7			6か月に1度行い、必要なときは、適宜行っている。
	⑯ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	7			
関係機関や保護者との連携	⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7			
	㉑ 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	5	2		学校の毎月予定を確認し、送迎時間等の調整を行い、対応している。 今は、コロナ感染防止のため、関係機関と直接的に関わる場を控えている。
	㉒ 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				該当者なし。
	㉓ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	1	2	今は、コロナ感染防止のため、関係機関と直接的に関わる場を控えている。
	㉔ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか				該当者なし。
	㉕ 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	1	1	今は、コロナ感染防止のため、関係機関と直接的に関わる場を控えている。
	㉖ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		2	5	コロナ感染防止のため、今は外部での交流を控えている。
	㉗ (地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	5	2		事業所連絡会議へ参加している。 今後、機会があれば参加していきたい。 今は、コロナ感染防止のため、関係機関と直接的に関わる場を控えている。
	㉘ 曰頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7			送迎時に様子を伝え、共通理解を図るようしている。

	㉙ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	1	3	「ママカフェ」を定期的に実施し、子育についての事例を報告していく。今は、コロナ感染防止のため、控えている。
保護者への説明責任等	㉚ 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	2		初回契約時、更新時に実施している。
	㉛ 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7			適宜、心理士などによる相談を実施している。
	㉜ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		2	5	「ママカフェ」を定期的に実施し、子育についての事例を報告していく。今は、コロナ感染防止のため、控えている。
	㉝ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7			
非常時の対応	㉞ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7			月の予定を配布している。
	㉟ 個人情報に十分注意しているか	7			個別ファイルは、鍵付き書庫に保管している。
	㉟ 傍害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7			
	㉢ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		3	4	地域の方とも連携をとり、事業を理解していただける運営を図りたい。 今は、コロナ感染防止のため、関係機関と直接的に関わる場を控えている。
	㉣ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	7			
	㉤ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7			年間計画に従い、月1回、避難訓練を実施している。
	㉥ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7			定期的に内部研修を実施している。
	㉦ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	7			利用契約時、契約更新時に説明している。
	㉧ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	7			
	㉨ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7			

保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表： 2021年 2月 6日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」東田校 保護者等数（児童数）： 10 回収数： 8 割合：80 %

		チェック項目	はい	どちらともいえ ない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境 ・ 体 制 整 備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	6	2		
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	3	5		
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	4	1	
適 切 な 支 援 の 提 供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 ^Ⅰ が作成されているか	7	1		
	⑤	活動プログラム ^Ⅱ が固定化しないよう工夫されているか	5	8		
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	4	3	児童クラブなどへ行かなくても、他の子どもと関われる場がある。
保護 者 へ の 説 明 等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	8			
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができるいるか	7		1	送迎時やミニたリング時に、子どもの様子を適確に伝えるよう努める。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	7		1	
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	5	2	1	「ママカフェ」を定期的に開催する。 コロナ感染防止のため、今年度は、行っていない。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	1		

	(12) 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	6	2		
	(13) 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	6	2		
	(14) 個人情報に十分注意しているか	5	3		
非常時等の対応	(15) 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	4	2	2	マニュアルは、作成されており、職員への周知を行っている。保護者にも周知・説明を行っていく。
	(16) 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	3	4	1	月に1回、避難訓練を行っている。
満足度	(17) 子どもは通所を楽しみにしているか	4	1	3	
	(18) 事業所の支援に満足しているか	5	3		言語が足りない。 ポルトガル語の言語聴覚士の療育を希望されるときには、言語聴覚士のいる校舎を適宜紹介している。

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供するまでの留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。